

事例
研究高年齢者の活躍が
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業の人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。本事例を足掛かりとして、高齢者を活用した人材確保にお役立てください。

「あいう人になりたい」
そういうシニア職員がいる職場

社会福祉法人 札幌恵友会は特別養護老人ホームやグループホーム、障害者支援施設など17事業所、31事業を札幌市内で展開している。「グループホーム あいの里ふぁみりあ」を訪ね、統括管理者の鈴木幸恵さんにお話を伺った。「どの業界も同様なのでしょうが、とにかく人材が不足しています。新しい施設は増えるんですが、労働力人口の減少もあって人材が集まらなくなった」と話す。ちなみに札幌恵友会は全従業員397名のうち60歳以上の職員が81名、約20%をシニアが占めている。そのうち、あいの里のほか茨戸、百合が原の施設を含む「グループホーム ふぁみりあ」では60歳以上が4割以上を占めているという。

同社の定年は60歳、そこから再雇用して65歳までは嘱託職員、65歳以降はパートとして働く制度となっている。現在、最高齢の職員は73歳。「その方には1日7時間、週3回、働いてもらっています。シニア職員のいい点は、経験が豊富なので、入居者への対応が柔軟ですばらしいこと。わた

人が人に寄り添う仕事
社会福祉法人 札幌恵友会

しはここで働いて34年になりますが、あの73歳のシニア職員の方のようになれるといいなと思います。入居者への声のかけ方がまったく違うんです。人間としての経験値が大きく違うんだと、心から感心してしまいます」(鈴木さん)。

「ありがとう」といわれるために
働いたことは一度もない

グループホームは認知症状のある高齢者が、職員と一緒に買い物や洗濯、食事作りなど、自宅で生活していた時と同じような環境・スタイルで共同生活を行う場所。ここに勤務する職員は体力的にも精神的にも、とても負荷の高い職場であることが想像できる。その点について鈴木さんに伺うと、まず第一声が「楽しい！」だった。「毎日、発見があってとても楽しい！人(入居者)の変化が見られるのがいい。正直、とても疲れることもあるけれど、だからといって今日は出勤したくないと思ったことはない。辞めようと思ったこともあるけれど、絶対辞められない」と鈴木さん。一緒に話を



写真左)「グループホーム あいの里ふぁみりあ」外観。
写真中)「グループホーム あいの里ふぁみりあ」でつろぐ入居者の方たち。
写真右) 介護老人保健施設「茨戸アカシアハイツ」外観。
札幌恵友会全体で17事業所・31事業を展開している。

会社概要 【法人名】社会福祉法人 札幌恵友会
【所在地】〒001-0930 札幌市北区新川715番地2
【職員】397名(2021年12月現在)

【事業・サービス】18事業・サービス/5受託事業
【設立】1977年(昭和52年11月7日)



グループホーム ふぁみりあ
統括管理者 鈴木幸恵さん
「札幌恵友会にはいろんな施設があるので、その人の体力等にあわせて、職場の異動もできます。だからいろんな働き方が可能なんです」。



坂田真由美さん(62歳)
「入居者は驚くほど(職員を)見えています。職員によって表情がものすごく変わる。人間を相手にしている仕事は本当に飽きない。体力が続く限り続けたい」。

伺った坂田真由美さん(62歳)が話す。「自分に馴染んでくれなかった入居者が、心を開いてくれる瞬間があるんですよ！そうして自分が隣に座るだけで、なにも話さなくても静かに落ち着いてくれたりする」。

この仕事のことを、なにも知らないまま、イメージだけで「きついだらうな」と思い込み、避けてきた自分が恥ずかしくなる。「私たちは、ありがとうと言われるために働いたことは一度もないんですよ」と、鈴木さんが坂田さんの目を見てうなずきながら話す。「もちろん、ありがとうといわれれば嬉しいに決まっていますけどね。見返りを求めたらつらい仕事なんですよ」(鈴木さん)。

入居者の方の多くは言葉で表現することは少ない。けれど「言葉ではない表現」で訴えてくるのだという。例えばトイレに行きたいときは、部屋の隅に行くとか。「そういうことを発見・理解できたときはとても嬉しい！その瞬間のために働いているといってもいい」と鈴木さん、坂田さんが一緒に話す。人に寄り添う仕事に、世代はもう関係ないのかもしれない。けれどもそこには必ずシニアがいて、若い世代と一緒に、日々感動しながら、楽しく働いているのだろう。

社労士からひとこと！



社会保険労務士・
キャリアコンサルタント
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

「あんなふうになりたい」人がいる職場っていい！

「あんなりたいと思う先輩がいる」という職場って最高ではないでしょうか？
20歳のころ「隣の課の、あんな素敵な先輩みたいになりたい」と考え仕事をした記憶があります。また、30歳の節目には「ドラマの中ではあるけれど、あんな35歳になって、バリバリ育児も仕事もこなしてみたい。」と目標をもっていました。

気が付くと、そういった「憧れの人」「目標としたい人」が身近にいなくなっていました。ですからシニアの年齢になって「ああいう人になりたい」と思える人がいる職場で働いているのは本当に幸せだと思います。なによりも入居者に心から寄り添うことに「楽しみ」と感動をもっているお二人の人間力に脱帽です。

高齢者雇用の求人募集は【就サポ】へ！

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら
就サポ 札幌市就業
サポートセンター

求人開拓室

☎ 011-708-7865

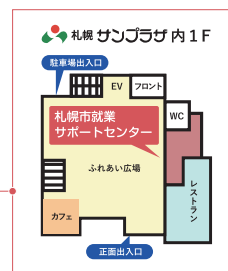
☎ 011-716-6811

《受付時間》平日8:45~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)

就サポサービス情報サイト <http://saposen.co.jp/>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分



さっぽろ市
02-H03-21-2305
R3-2-1456

札幌市就業サポートセンターでは、札幌市が委託する民間職業紹介事業者とハローワークが共同で無料の職業紹介サービスを行っている全国で唯一の官民共同窓口です。職業紹介やカウンセリング、セミナーなどを組み合わせた多様な就労支援サービスを提供しております。